

さやまにあったら

いいな♪

こんな“とこ”

全4回



～子どもが真ん中の地域の居場所(サードプレイス)を考えよう?!～

家でも、学校、園でもない居場所が地域の中にあることは、子どもたちの心の豊かさにつながります。今回は、若者、子どもたちの心を温めてくれる様々な居場所の活動事例を三つお聴きし、その上で、さやまにあったらいいなと思える子どもたちの居場所について一緒に考えてみたいと思います。

- ①2月 4日 『子ども・若者に必要なサードプレイスとは?』
田中俊英さん(一般社団法人officeドーナツトーク)
- ②2月18日 『子どもをネットワークで支える』
荘保共子さん(特定非営利活動法人地域包摂こども支援センター“こどもの里”)
- ③2月25日 『CPAOの活動から見る、今地域に必要なこと』
徳丸ゆき子さん(大阪子どもの貧困アクショングループ“CPAO”)
- ④3月11日 『さやまにあたらいいな♪こんな“とこ”』
今、私たちの住む大阪狭山にどんな居場所があったらうれしいか一緒に考えましょう

いずれも、**土曜日、午後1時30分～3時30分**

①～③はお話を聴く機会、④はワークショップです

ところ：大阪狭山市立公民館

対象：テーマに関心がある15歳以上の人 ※託児はありませんが、お子さんを連れての参加も可

定員：20人 ※申込み多数の場合は、抽選

参加費：500円(全4回)

申込み・問合せ：大阪狭山市立公民館 TEL:072-366-0070/FAX:072-366-0081